



関西フードマーケット

---

# 第64期 定時株主総会 招集ご通知

日時

2023年6月20日（火曜日）  
開会：午前10時  
(受付開始：午前9時)

場所

大阪市北区芝田一丁目1番35号  
大阪新阪急ホテル 2階  
紫の間

※本年より、開催時間が変更になっておりますので  
ご注意ください。

## ■ 決議事項

---

- 第1号議案 剰余金の配当の件
- 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件
- 第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件

株式会社 関西フードマーケット

証券コード：9919

証券コード 9919  
2023年5月29日  
(電子提供措置の開始日 2023年5月25日)

株 主 各 位

兵庫県伊丹市中央5丁目3番38号  
**株式会社 関西フードマーケット**  
代表取締役社長 林 克 弘

## 第64期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社第64期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申しあげます。

本株主総会の招集に際しては電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイト  
「第64期定時株主総会招集ご通知」及び「その他の電子提供措置事項（交付書面省略事項）」として電子提  
供措置事項を掲載しております。

### 【当社ウェブサイト】

<https://www.kansai-foodmarket.co.jp/ir/meeting.html>

また、上記のほか、インターネット上の下記ウェブサイトにも掲載しております。

### 【東京証券取引所ウェブサイト】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

上記の東京証券取引所ウェブサイトにアクセスして、当社名又は証券コード（9919）を入力・検索し、  
「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択のうえ、ご覧ください。

### 【ネットで招集】（2023年5月29日掲載予定）

<https://s.srdb.jp/9919/>



なお、インターネット等又は郵送により議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株  
主総会参考書類をご検討いただき、3頁から4頁に記載の「議決権の行使等についてのご案内」をご確認  
のうえ、2023年6月19日（月曜日）午後6時までに到着するよう、議決権行使書用紙に賛否をご記入い  
ただきご返送くださるか、又は、インターネット等により議決権を行使していただきますようお願い申し  
あげます。

敬 具

## 記

1. 日 時 2023年6月20日（火曜日）午前10時（受付開始 午前9時）
2. 場 所 大阪市北区芝田一丁目1番35号  
大阪新阪急ホテル 2階 紫の間 ※末尾ご案内図をご参照ください。

### 3. 株主総会の目的事項

**報告事項** 1. 第64期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類並びに計算書類の内容報告の件

2. 会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

**決議事項** 第1号議案 剰余金の配当の件

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件

第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件

### 4. 招集にあたっての決定事項

3頁から4頁に記載の「議決権の行使等についてのご案内」をご参照ください。

以 上

### ◎その他本招集ご通知に関する事項

- (1) 電子提供措置事項のうち、事業報告の「会計監査人に関する事項」「会社の体制及び方針」、計算書類、連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」「連結注記表」、監査報告書につきましては、法令及び当社定款第13条第2項の規定に基づき、各ウェブサイトに掲載しておりますので、書面交付請求をされた株主様へご送付している書面には記載しておりません。なお、監査等委員会・会計監査人が監査した事業報告、連結計算書類及び計算書類は、当該書面に記載のほか、各ウェブサイトに掲載の事項になります。
- (2) 株主総会前日までに電子提供措置事項を修正する必要がある場合は、掲載している各ウェブサイト上に修正内容を掲載させていただきます。

■会社法改正に伴う電子提供制度の施行に伴い、法令に定める基準日（2023年3月31日）までに書面交付請求をされていない株主様には、株主総会参考書類と関連書類の一部を合わせてご送付しております。また、書面交付請求をされた株主様には、法令及び当社定款第13条第2項に基づき、電子提供措置事項から一部を除いた書面をご送付しております。

■ご来場株主様へのお土産等のご用意はございません。何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

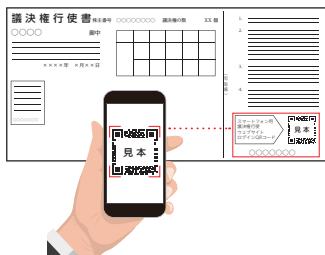


# インターネット等による議決権行使のご案内

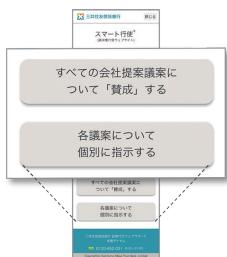
## QRコードを読み取る方法 「スマート行使」

議決権行使コードおよびパスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取ってください。



- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。



「スマート行使」での議決権行使は1回に限り可能です。

議決権行使後に行使内容を変更する場合は、お手数ですがPC向けサイトへアクセスし、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」・「パスワード」を入力してログイン、再度議決権行使をお願いいたします。

※QRコードを再度読み取っていただくと、PC向けサイトへ遷移できます。

インターネット等による議決権行使でパソコンやスマートフォンの操作方法などがご不明な場合は、右記にお問い合わせください。

## 議決権行使コード・パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://www.web54.net>

- 1 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。



- 2 議決権行使書用紙に記載された「議決権行使コード」をご入力ください。



- 3 議決権行使書用紙に記載された「パスワード」をご入力ください。



- 4 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

※操作画面はイメージです。

三井住友信託銀行 証券代行ウェブサポート 専用ダイヤル  
電話番号：0120-652-031 (フリーダイヤル)  
(受付時間 9：00～21：00)

機関投資家の皆様は、株式会社ICJが運営する機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことが可能です。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

## 株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

2023年3月期の当社グループの連結業績は、上半期は前期の新型コロナウイルス拡大の影響下における内食・巣ごもり需要の反動により苦戦した一方で、下半期は新型コロナウイルスの影響緩和により各社で客数が前期から減少しましたが、商品の値上げにより客単価が上昇し、既存店売上高は前期並みで推移しました。また、利益面では、下半期は経費削減効果により食品スーパー各社において前期実績を上回りましたが、通期を通じた光熱費の増加等が利益の押し下げ要因となりました。

### 一層の企業価値の向上に向けて

食品スーパーマーケット業界は、少子高齢化や人口減少等による小売市場の縮小、ECや他業種の参入による競争激化、そして新型コロナウイルス感染症によるライフスタイルの変化、そして当面続くであろう物価高等、その環境変化にますます多様な対応が必要になってきています。

このような中、当社グループでは、店舗運営や商品調達等の標準化・共通化などの事業改革の取り組みをさらに進化させるため、2023年4月1日付でイズミヤ(株)と(株)阪急オアシスを合併し、事業基盤の強化を図りました。これに加えて、(株)関西スーパーマーケットとの経営統合によるシナジー効果の実現のため、商圈、立地、店舗規模に基づく店舗フォーマットの分類と整理を行い、店舗運営、決済、製造・開発、物流、プロセスセンター、システム、本部機能など様々な分野でシナジーの実現を図り、より一層の企業価値向上に取り組んでまいります。

当社グループは、エイチ・ツー・オー リテイリンググループの一員として、「『楽しい』、『うれしい』、『おいしい』の価値創造を通じ、お客様の心を豊かにする暮らしの元気パートナー」というグループビジョンの実現に向け、関西地域の生活者の皆様に「食」を通して貢献するため日々努力を重ねてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。



代表取締役社長 林 克弘

### 連結業績 (2022年度)

連結売上高

3,740 億円

総額売上高\*

3,886 億円

連結営業利益

59 億円

連結経常利益

54 億円

親会社株主に帰属する  
当期純利益

43 億円

※総額売上高は、「収益認識に関する会計基準」等による影響を除外した従前の基準での売上高となります。

※当連結会計年度における当社グループの連結業績は、当社、イズミヤ(株)、(株)阪急オアシス、(株)関西スーパーマーケット、(株)KSPの5社の業績からなる連結数値を記載しております。なお、前連結会計年度の連結業績は、株式交換が企業結合会計上の逆取得に該当することから、イズミヤ(株)と(株)阪急オアシスの2社の業績と当社、(株)関西スーパーマーケット、(株)KSPの3社の第4四半期連結会計期間の業績からなる連結数値のため、当連結会計年度と前連結会計年度との間で連結範囲が大きく異なることから、前期比は記載しておりません。

# 業績ハイライト

## 各事業の概要

### イズミヤ

総額売上高 **1,465**億円  
(前期比 98.2%)

営業利益 **20**億円  
(前期比 79.2%)

### 阪急オアシス

総額売上高 **1,125**億円  
(前期比 96.4%)

営業利益 **13**億円  
(前期比 63.2%)

※(株)KSPとの連結数値

### 関西スーパーマーケット※

総額売上高 **1,296**億円  
(前期比 99.0%)

営業利益 **29**億円  
(前期比 117.1%)

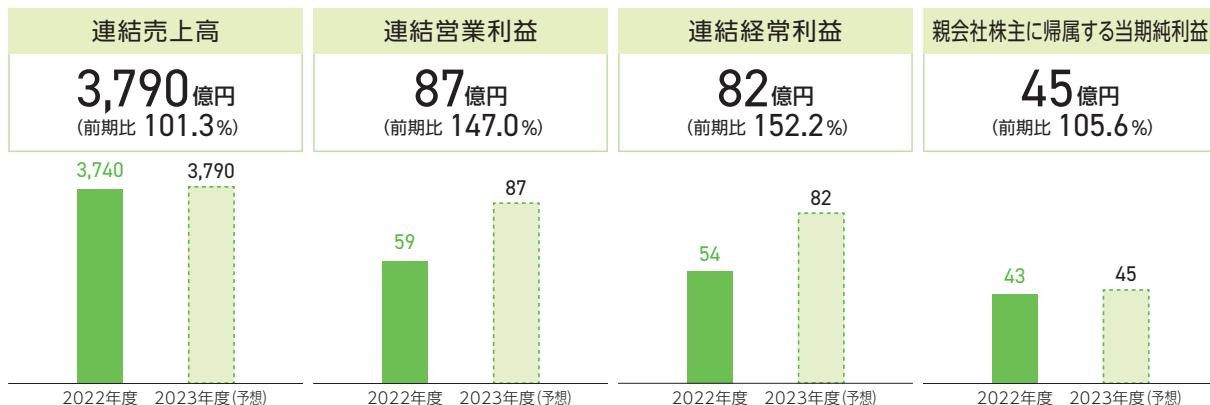
- 構造改革途上であるイズミヤ(株)と(株)阪急オアシスでは、チェーンオペレーションの徹底による利益改善を目指し、各施策の取り組みを実施。
- 既存店売上高前期比は、イズミヤ(株)97.1%、(株)阪急オアシス94.3%と苦戦。
- 光熱費が増加し利益を押し下げた一方で、要員体制の最適化・生産性向上に取り組んだ結果、人件費は計画以上に削減。

- 施策実現のための情報共有と意思統一を更に徹底し、生産性向上等に向けた取り組みを実施。
- 既存店売上高前期比は、99.0%。
- 光熱費が増加するも、消耗品費等の見直しにより販売費及び一般管理費は実績・計画値を下回る。

※(株)関西スーパーマーケット、(株)KSPの経営成績は、当社グループの前期の第3四半期までの経営成績には含まれておりませんが、各社の前期の通期との比較に基づき、経営成績を記載しております。

※営業利益は「収益認識に関する会計基準」等による影響を除外した従前の基準での営業利益額となります。

## 業績予想 (2023年度)



※記載の金額は、表示桁数未満を四捨五入して表示しております。

## TOPICS

食品スーパーでは、お客様に、より美味しい商品をご提供し、便利なお買い物を実現することを目指して様々な取り組みを行っています。また、その実現を支える仕組みや機器を工夫することで、店舗での作業負担の軽減など従業員の職場環境の改善と、生産性向上の両立に向けた取り組みも進めています。

### デリカ 出来たての提供と ともに効率化も実現

**スチームコンベクションの導入推進**  
作業効率化のため、2台目のスチームコンベクションを惣菜作業場に導入。作業時間の削減、作業の合理化を進めています。

**AI機能付フライヤーリフターの導入**  
作業担当者が商品を取り出す手間が省け、生産性向上につながるとともに、AIによる油温調整とスイング機能で商品の均質化を実現しています。



### 待ち時間を少なく、セルフ精算レジ

レジ係は商品登録のみで、お客様ご自身で精算いただきます。従業員はレジでの作業が軽減され、お客様のレジ待ち時間の短縮につながっています。



### スライド棚導入による 店舗作業の効率化

手が届きにくい箇所や狭い棚間の商品補充や手直し作業の負担を軽減。無理のない姿勢で楽に作業が可能になり、店舗での作業時間や作業量を軽減しています。



### 物流・納品業務の統一

イズミヤと阪急オアシスでは、物流センターから店舗への商品の納入方法をカートラック納品に統一したことにより、店舗での台車の積み替え作業が軽減され、店舗作業の生産性改善につながっています。

## サステナビリティ

当社グループのサステナビリティの取り組みをご紹介します。

### こども食堂の取り組み

無料または安価で栄養のある食事をとることができ、地域とのコミュニケーションの場ともなっている「こども食堂」に、当社グループの社会貢献団体である「一般財団法人H2Oサンタ」を介して、イズミヤと阪急オアシスの16店舗が参加し、店頭で売れ残ったパンを、寄付しています。この活動は、グループ全体で取り組んでいるフードロス削減にもつながっています。



### おおさかCO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>ポイント参加 (コツコツ)

阪急オアシス豊中駅前店、池田店、イズミヤ千里丘店の3店舗で大阪府の「脱炭素ポイント制度推進プラットフォーム」の実証実験（2022年11月～2023年1月まで）に参画しました。流過程で排出される二酸化炭素削減に繋がることから、関西近郊農家の野菜・果物を販売している「おひさん市」の商品購入で特別ポイントを付与しました。



### 食品リサイクルループ米の販売

店舗で排出された食品残さを回収し、液体堆肥を製造しています。この液体堆肥で栽培した「丹波ひかみ産こしひかり」は、収穫後店舗で販売されます。この取り組みは、「JA丹波ひかみ」様のご協力で2010年より開始し、2011年に農林水産省・環境省から「再生利用事業計画（食品リサイクルループ）」の認定を受けています。



食品関連  
事業者



神戸市北区八多店  
店舗バックヤード  
からの食品残さ



お米などの作物を販売



農林漁業者等

JA丹羽ひかみ



食品リサイクル  
ループ

再生利用事業者

マツダ株式会社



回収した食品残さを異物検査



液体肥料タンク(神戸市東灘区)

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 剰余金の配当の件

当社は、事業基盤の充実のための内部留保を図りながら、株主の皆様へ安定的な利益還元を行うことを基本方針としております。

このような方針のもと、当期の期末配当につきましては、当社の業績及び今後の経営環境を勘案しまして、その他資本剰余金を原資として以下のとおりとさせていただきたいと存じます。

期末配当に関する事項

(1) 配当財産の種類

金銭

(2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式 1 株につき金10円

配当総額577,921,460円

これにより、中間配当金（1株につき8円）を含めた年間配当金は、1株につき18円となります。

(3) 剰余金の配当が効力を生ずる日

2023年6月21日

## 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件

本総会の終結の時をもって、取締役（監査等委員である取締役を除く。以下、本議案において同じ。）5名全員が任期満了となります。つきましては、取締役5名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は次のとおりであります。

候補者番号	氏名	性別	当社における地位	候補者属性
1	はやし かつ ひろ 林 克 弘	男性	代表取締役社長	再任
2	ふく たに こう じ 福 谷 耕 治	男性	取締役	再任
3	うめ もと とも ゆき 梅 本 友 之	男性	取締役	再任
4	なが た やす と 永 田 靖 人	男性	取締役	再任
5	わた なべ がく 渡 邊 学	男性	取締役	再任

候補者  
番号

1



再任

はやし  
林

かつひろ  
克弘

1958年1月20日生

所有する当社株式の数  
2,900株

### 略歴、地位及び担当

1982年4月 株式会社阪急百貨店（現・エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社）入社  
2009年6月 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 取締役執行役員  
2009年6月 株式会社阪急阪神百貨店 執行役員  
2012年4月 同社 取締役執行役員  
2014年4月 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 取締役常務執行役員  
2014年4月 株式会社阪急阪神百貨店 取締役常務執行役員

2015年4月 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 代表取締役専務執行役員  
2015年4月 株式会社阪急阪神百貨店 代表取締役専務執行役員  
2017年4月 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 代表取締役副社長（現任）  
2019年11月 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 代表取締役社長（現任）  
2021年12月 当社 代表取締役社長（現任）  
2023年4月 イズミヤ・阪急オアシス株式会社 代表取締役社長（現任）

### 重要な兼職の状況

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 代表取締役副社長  
イズミヤ・阪急オアシス株式会社 代表取締役社長  
株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 代表取締役社長

### 候補者とした理由

林克弘氏は、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社において、主に経営管理部門やコンプライアンス部門における豊富な実務経験を有しており、2019年以降は、同社の食品事業の経営管理を担う株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループの代表取締役社長として同事業の構造改革を主導しており、2021年12月に当社の代表取締役社長に就任しております。同氏については、その豊富な経験と実績、見識から、当社の持続的な企業価値向上のために適切な人材であると判断し、取締役候補者といたしました。

候補者  
番号

2



再任

ふくたに  
福谷

こうじ  
耕治

1956年12月25日生

所有する当社株式の数  
43,500株

### 略歴、地位及び担当

1979年3月 株式会社関西スーパーマーケット（現・株式会社関西フードマーケット）入社  
2006年10月 同社 経理グループマネジャー  
2008年6月 同社 取締役  
2008年10月 同社 総務グループマネジャー  
2010年10月 同社 総務本部長  
2011年10月 同社 店舗運営本部長  
2013年6月 同社 常務取締役  
2013年6月 同社 営業本部長  
2014年10月 同社 代表取締役社長

2020年6月 同社 営業統括本部長  
2021年9月 KS分割準備株式会社 代表取締役  
2021年12月 当社 取締役執行役員兼食品スーパーカンパニー社長  
2022年2月 当社 取締役（現任）  
2022年2月 株式会社関西スーパーマーケット（KS分割準備株式会社より商号変更）代表取締役社長（現任）  
2023年4月 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役（現任）

### 重要な兼職の状況

株式会社関西スーパーマーケット 代表取締役社長  
株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役

### 候補者とした理由

福谷耕治氏は、食品スーパーに関する豊富な実務経験を有しており、株式会社関西スーパーマーケットにおいて代表取締役社長として経営にあたるとともに、2021年12月に当社の取締役に就任しております。同氏については、その豊富な経験と実績、見識から、当社の持続的な企業価値向上のために適切な人材であると判断し、取締役候補者といたしました。

候補者  
番号 3



再任

うめもと ともゆき  
梅本 友之

1959年9月13日生

所有する当社株式の数  
400株

#### 略歴、地位及び担当

1982年4月 イズミヤ株式会社 入社  
1988年9月 イズミヤ労働組合 中央執行委員  
2005年9月 同組合 中央執行委員長  
2015年11月 株式会社サンローリー 専務取締役  
2016年4月 同社 代表取締役社長  
2019年4月 イズミヤ株式会社 取締役執行役員  
2020年1月 同社 代表取締役社長

2020年4月 株式会社エイチ・ツー・オー 食品  
グループ 取締役  
2021年12月 当社 取締役 (現任)  
2023年4月 イズミヤ・阪急オアシス株式会社  
専務取締役 (現任)  
2023年4月 株式会社エイチ・ツー・オー 食品  
グループ 取締役専務執行役員 (現  
任)  
2023年4月 カナート株式会社 取締役 (現任)

#### 重要な兼職の状況

イズミヤ・阪急オアシス株式会社 専務取締役  
株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役専務執行役員  
カナート株式会社 取締役

#### 候補者としての理由

梅本友之氏は、食品スーパーに関する豊富な実務経験を有しており、2020年1月にイズミヤ株式会社において代表取締役社長に就任し経営にあたるとともに、2021年12月には当社の取締役に就任しております。同氏については、その豊富な経験と実績、見識から、当社の持続的な企業価値向上のために適切な人材であると判断し、取締役候補者といたしました。

候補者  
番号 4



再任

ながた やすと  
永田 靖人

1958年11月1日生

所有する当社株式の数  
400株

#### 略歴、地位及び担当

1982年4月 株式会社阪急百貨店 (現・エイチ・  
ツー・オー リテイリング株式会社) 入社  
2013年4月 株式会社阪食 (2016年6月に商号  
を株式会社阪急オアシスに変更、  
現・イズミヤ・阪急オアシス株式会  
社) 人事部長  
2014年4月 同社 取締役執行役員  
2015年4月 同社 取締役常務執行役員  
2017年4月 同社 取締役専務執行役員

2021年4月 同社 代表取締役社長  
2021年4月 株式会社エイチ・ツー・オー 食品  
グループ 取締役  
2021年12月 当社 取締役 (現任)  
2023年4月 イズミヤ・阪急オアシス株式会社  
専務取締役 (現任)  
2023年4月 株式会社エイチ・ツー・オー 食品  
グループ 取締役専務執行役員 (現  
任)

#### 重要な兼職の状況

イズミヤ・阪急オアシス株式会社 専務取締役  
株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役専務執行役員

#### 候補者としての理由

永田靖人氏は、食品スーパーに関する豊富な実務経験を有しており、2021年4月に株式会社阪急オアシスにおいて代表取締役社長に就任し経営にあたるとともに、2021年12月には当社の取締役に就任しております。同氏については、その豊富な経験と実績、見識から、当社の持続的な企業価値向上のために適切な人材であると判断し、取締役候補者といたしました。

候補者  
番号

5



再任

わたなべ  
**渡邊**

がく  
**学**

1968年5月1日生

所有する当社株式の数  
500株

### 略歴、地位及び担当

1991年4月	三洋電機株式会社 入社	2020年4月	同社 執行役員
2010年7月	同社 経営企画本部副本部長	2021年12月	当社 取締役 財務室・総務室担当
2015年4月	株式会社シグママックス 入社	2022年2月	当社 取締役 経営企画室長、財務室・総務室担当（現任）
2015年4月	グローバルセキュリティエキスパート株式会社 代表取締役副社長	2022年4月	エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 常務執行役員（現任）
2018年4月	株式会社シグママックス 経営企画部長（ディレクター）		
2019年10月	エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社入社 副社長付（室長待遇）		

### 重要な兼職の状況

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 常務執行役員

### 候補者とした理由

渡邊学氏は、経営管理に関する豊富な実務経験を有しており、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社において執行役員、また常務執行役員として経営にあたるとともに、2021年12月に当社の取締役に就任しております。同氏については、その豊富な経験と実績、見識から、当社の持続的な企業価値向上のために適切な人材であると判断し、取締役候補者といたしました。

- (注) 1. 各氏の「略歴、地位及び担当」「重要な兼職の状況」の欄に、当社の親会社であるエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社及びその子会社等における現在及び過去10年間の業務執行者であるときの地位及び担当を含めて記載しております。
2. 林克弘氏はエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社の代表取締役副社長、及び同子会社の株式会社エイチ・ツー・オー食品グループの代表取締役社長であります。これらの各社と当社及び当社子会社は以下の取引を行っております。
- ・当社は、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社より資金の借入れを行っているほか、同社に対しグループの運営負担金の支払いを行っております。
  - ・当社子会社であるイズミヤ・阪急オアシス株式会社は、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社に対して不動産の賃貸借、資金の貸し付け及び借り入れを行っているほか、同社に対して情報システム使用料の支払いを行っております。
  - ・イズミヤ・阪急オアシス株式会社は、株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループに対して、不動産の賃貸を行っているほか、同社に対して業務委託料の支払いを行っております。
  - ・上記のほか、当社子会社は、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社の子会社から商品の仕入れを行っております。
3. 上記2. のほか、各候補者と当社の間には、特別の利害関係はありません。
4. 当社は、各候補者と会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約では、被保険者が会社の役員等の地位に基づき行った行為（不作為を含みます。）に起因して損害賠償請求された場合、損害賠償金や訴訟費用等が填補されることとなっており、当社が保険契約者として費用負担しております。なお、各候補者が選任され、取締役に就任した場合、各候補者は、当該保険契約の被保険者に引き続き含まれることとなります。
5. 当社は、2022年2月1日付で会社分割によりK S分割準備株式会社に当社の営む一切の事業を承継させる会社分割を実施するとともに、商号を株式会社関西フードマーケットへと変更しております。また、K S分割準備株式会社は、同日付で商号を株式会社関西スーパーマーケットに変更しております。
6. 株式会社阪急百貨店は、新たに設立した株式会社阪急百貨店に2007年10月1日付で会社分割により百貨店事業を承継するとともに、商号をエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社へと変更しております。また、新たに設立した株式会社阪急百貨店は、2008年10月1日に株式会社阪神百貨店と合併し、商号を株式会社阪急阪神百貨店に変更しております。

- 
7. イズミヤ株式会社（株式会社エイチ・ツー・オーアセットマネジメントに商号変更、その後2021年4月1日付で株式会社阪急阪神百貨店と吸収合併により解散）は、新たに設立したイズミヤ株式会社に2016年7月1日付で会社分割により小売事業を承継しております。
  8. 株式会社阪食は、2016年6月1日付で、商号を株式会社阪急オアシスへと変更しております。
  9. イズミヤ株式会社と株式会社阪急オアシスは、2023年4月1日付で合併し、存続会社である株式会社阪急オアシスの商号をイズミヤ・阪急オアシス株式会社へと変更しております。

### 第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件

本総会の終結の時をもって、監査等委員である取締役4名全員が任期満了となります。つきましては、監査等委員である取締役4名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名	性別	当社における地位	候補者属性
1	こにしとしみつ 小西敏允	男性	取締役（監査等委員）	再任
2	もりしげお 森薫生	男性	取締役（監査等委員）	再任 社外 独立
3	にしぐちよしひろ 西口美廣	男性	取締役（監査等委員）	再任 社外 独立
4	さわちえ 澤千恵	女性	取締役（監査等委員）	再任 社外 独立

候補者  
番号

1



再任

こにし としみつ  
**小西 敏允**

1944年4月17日生

所有する当社株式の数  
600株

### 略歴、地位及び担当

1967年4月 株式会社阪急百貨店（現・エイチ・  
ツー・オー リテイリング株式会社）  
入社  
1988年9月 同社 経理部長  
2000年6月 同社 取締役  
2004年6月 同社 常勤監査役  
2007年10月 株式会社阪急百貨店 監査役

2008年10月 株式会社阪急阪神百貨店 監査役  
（現任）  
2016年6月 エイチ・ツー・オー リテイリング  
株式会社 取締役常勤監査等委員  
（現任）  
2021年6月 株式会社エイチ・ツー・オー 食品  
グループ 監査役（現任）  
2021年12月 当社 取締役監査等委員（現任）

### 重要な兼職の状況

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 取締役常勤監査等委員  
株式会社阪急阪神百貨店 監査役  
株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 監査役

### 候補者とした理由

小西敏允氏は、長年にわたって財務・経理業務に携わった経験があり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しており、同氏のこれまでの豊富な経験と実績、見識から、当社グループの経営の監督・監査機能の実効性を強化するために適切な人材であると判断し、監査等委員である取締役候補者といたしました。

候補者  
番号

2



再任 **社外** **独立**

もり しげお  
**森 薫生**

1954年9月26日生

所有する当社株式の数  
9,900株

### 略歴、地位及び担当

1982年4月 弁護士登録（現在に至る）  
辻中法律事務所 入所  
1988年1月 辻中・森法律事務所パートナー  
1999年4月 森薫生法律事務所（現・高麗橋中央  
法律事務所） 所長（現任）

2007年6月 株式会社関西スーパーマーケット  
（現・株式会社関西フードマーケッ  
ト） 監査役  
2015年6月 サノヤスホールディングス株式会社  
社外取締役（現任）  
2015年6月 当社 取締役監査等委員（現任）

### 重要な兼職の状況

高麗橋中央法律事務所 所長  
サノヤスホールディングス株式会社 社外取締役

### 社外取締役候補者とした理由等

森薫生氏は、会社の業務執行に直接関わった経験はありませんが、弁護士としての豊富な経験と実績を有していることから、社外取締役としての職務を適切に遂行できるものと判断し、監査等委員である取締役（社外取締役）候補者といたしました。同氏が選任された場合、当社の法的リスクに対する提言等を期待しております。また、同氏は、現在、当社の監査等委員である社外取締役であり、在任期間は、本総会終結の時をもって社外監査役8年、監査等委員である社外取締役8年であります。

候補者  
番号 3



再任 社外 独立

にし ぐち よし ひろ  
西口 美廣

1953年11月4日生

所有する当社株式の数  
300株

### 略歴、地位及び担当

1976年4月 株式会社住友銀行（現・株式会社三井住友銀行） 入社  
2003年4月 三洋電機株式会社 入社  
2004年4月 同社 常務執行役員  
2009年6月 ダイビル株式会社 執行役員  
2010年6月 同社 常務執行役員  
2014年6月 同社 常勤監査役  
2021年6月 株式会社神戸国際会館 監査役（現任）  
2021年8月 伸和エンジニアリング株式会社 監査役（現任）  
2021年12月 当社 取締役監査等委員（現任）

### 重要な兼職の状況

株式会社神戸国際会館 監査役  
伸和エンジニアリング株式会社 監査役

### 社外取締役候補者とした理由等

西口美廣氏は、長年にわたって財務・経理業務に携わった経験があり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。同氏の社外でのこれまでの豊富な経験と実績、見識から、監査等委員である取締役（社外取締役）候補者いたしました。なお、同氏が選任された場合、これまでの豊富な実務経験に基づく提言等を期待しております。また、同氏は、現在、当社の監査等委員である社外取締役であり、在任期間は、本総会終結の時をもって監査等委員である社外取締役1年6ヶ月であります。

候補者  
番号 4



再任 社外 独立

さわ ち え  
澤 千恵

1967年1月25日生

所有する当社株式の数  
100株

### 略歴、地位及び担当

1989年4月 住友商事株式会社 入社  
2003年10月 藤原労務経営研究所 入所  
2007年12月 社会保険労務士登録（現在に至る）  
2010年2月 社労士オフィス ジェイアシスト 代表（現任）  
2017年4月 特定社会保険労務士 付記（現在に至る）  
2019年3月 株式会社スカイコンサルティング 代表取締役（現任）  
2020年12月 キャリアコンサルタント登録（現在に至る）  
2021年12月 当社 取締役監査等委員（現任）

### 重要な兼職の状況

社労士オフィス ジェイアシスト 代表  
株式会社スカイコンサルティング 代表取締役

### 社外取締役候補者とした理由等

澤千恵氏は、社会保険や労務に関する高い知見を有し、また、会社経営者としての経験を有していることから監査等委員である取締役（社外取締役）候補者いたしました。なお、同氏が選任された場合、従業員の福祉の向上に関する提言等を期待しております。また、同氏は、現在、当社の監査等委員である社外取締役であり、在任期間は、本総会終結の時をもって監査等委員である社外取締役1年6ヶ月であります。

- (注) 1. 各候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 小西敏允氏は、2023年6月に、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社取締役常勤監査等委員、株式会社阪急阪神百貨店監査役及び株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ監査役をいずれも退任予定です。
3. 森薫生氏、西口美廣氏及び澤千恵氏は、社外取締役候補者であります。また、当社は、3名全員を独立役員として東京証券取引所に届け出ております。なお、当社は、すべての独立役員と代表取締役社長を構成員とする任意の指名・報酬委員会を設置しております。
4. 当社は、小西敏允氏、森薫生氏、西口美廣氏及び澤千恵氏と会社法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結しております。各氏が再任された場合、当該契約を継続する予定であります。なお、当該契約の賠償責任の限度額は法令で定める額であります。
5. 当社は、各候補者と会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約では、被保険者が会社の役員等の地位に基づき行った行為（不作為を含みます。）に起因して損害賠償請求された場合、損害賠償金や訴訟費用等が填補されることになっており、当社が保険契約者として費用負担しております。なお、各候補者が選任され、監査等委員である取締役に就任した場合、各候補者は、当該保険契約の被保険者に引き続き含まれることとなります。
6. 株式会社阪急百貨店は、2007年10月1日付で会社分割により新たに設立した株式会社阪急百貨店に百貨店事業を承継するとともに、商号をエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社へと変更しております。また、新たに設立した株式会社阪急百貨店は、2008年10月1日に株式会社阪神百貨店と合併し、商号を株式会社阪急阪神百貨店に変更しております。

### 本株主総会後の取締役のスキルマトリックス（予定）

第2号議案及び第3号議案が原案どおり承認可決された場合、取締役（監査等委員である取締役を含む。）のスキルマトリックスは、以下のとおりとなります。

	企業経営	財務会計	法務リスクマネジメント	業界知見	DX・IT	人材開発・労務
林 克弘	○		○	○		○
福谷 耕治	○	○		○		○
梅本 友之	○			○		○
永田 靖人	○			○		○
渡邊 学	○	○			○	
小西 敏允	○	○	○			
森 薫生			○			
西口 美廣	○	○				
澤 千恵						○

※上記一覧表は、取締役（候補者）が有するすべての知識・経験・能力を表すものではありません。

以 上

# 事業報告

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

## 1 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

#### 当期の連結業績

売上高	374,018百万円 前期比 -	総額売上高 <sup>(※1)</sup>	388,561百万円 前期比 -
営業利益	5,919百万円 前期比 -	経常利益	5,355百万円 前期比 -
親会社株主に帰属する当期純利益		4,262百万円 前期比 -	

- ※1. 総額売上高は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等による影響を除外した従前の基準での売上高となります。
- ※2. 当連結会計年度における当社グループの連結業績は、当社、イズミヤ株式会社、株式会社阪急オアシス、株式会社関西スーパーマーケット、株式会社KSPの5社の業績からなる連結数値を記載しております。なお、前連結会計年度の連結業績は、株式交換が企業結合会計上の逆取得に該当することから、イズミヤ株式会社と株式会社阪急オアシスの2社の業績と当社、株式会社関西スーパーマーケット、株式会社KSPの3社の第4四半期連結会計期間の業績からなる連結数値のため、当連結会計年度と前連結会計年度との間で連結範囲が大きく異なることから、前期比は記載しておりません。

当連結会計年度における当社グループの連結業績は、売上高374,018百万円、収益認識に関する会計基準等による影響を除外した従前の基準での売上高に相当する総額売上高は388,561百万円となりました。上半期は、前期の新型コロナウイルス拡大の影響下における内食・巣ごもり需要の反動により苦戦した一方で、下半期は新型コロナウイルスの影響緩和により各社で客数が前期から減少しましたが、値上げにより客単価が上昇し、既存店売上高は前期並みで推移しました。

連結営業利益及び連結経常利益につきましては、営業利益5,919百万円、経常利益5,355百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、イズミヤ株式会社の業績推移に鑑みた税効果の慎重な見直しなどにより、4,262百万円となりました。

上記のとおり、株式会社関西スーパーマーケットの業績は、当社の前連結会計年度の連結業績には第4四半期連結会計期間のみ含まれておりますが、以下においては、業績の説明に有用であることから同社の年間の前期実績との比較に基づき、業績を記載しております。また、会社別の業績につきましては、収益認識に関する会計基準等による影響を除外した数値を記載しております。

各社の概況は次のとおりです。

### 【イズミヤ株式会社・株式会社阪急オアシス】

構造改革途上であるイズミヤ株式会社と株式会社阪急オアシスでは、チェーンオペレーションの徹底による利益改善を目指し、MD再構築による売上増加と粗利率改善、仕入統合による粗利率改善、店舗オペレーションの見直しによる人件費削減、経費の見直しなどの施策に取り組みました。

既存店売上高前期比はイズミヤ株式会社が97.1%（客数96.0%、客単価101.1%）、株式会社阪急オアシスが94.3%（客数95.1%、客単価99.1%）となりました。

イズミヤ株式会社では、6月にデイリーカナート天下茶屋店（大阪府大阪市）、9月に千里丘店（大阪府吹田市）、1月に桑津店（大阪府大阪市）を改装し、株式会社阪急オアシスでは4月に「健康」「サステナブル」「多世代共生」をテーマにした吹田S S T店（大阪府吹田市）を出店し、10月に池田店（大阪府池田市）を改装しました。

販売費及び一般管理費については、2社ともに光熱費が増加し利益を押下げた一方で、チェーンオペレーションの徹底において要員体制の最適化に取り組んだ結果、人件費は計画以上の削減となり、前期実績、計画ともに下回りました。

以上の結果、イズミヤ株式会社は総額売上高146,498百万円（前期比98.2%）、営業利益（※3）2,031百万円（前期比79.2%）となり、株式会社阪急オアシスは総額売上高112,510百万円（前期比96.4%）、営業利益（※3）1,283百万円（前期比63.2%）となりました。

※3. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等による影響を除外した従前の基準での営業利益額となります。

### 【株式会社関西スーパーマーケット】

株式会社関西スーパーマーケットでは、「健康経営」「生産性の向上」「教育」を3つの柱とし、保健師巡回による健康相談の実施、スライド棚設置やスチームコンベクションの増設、店長と経営幹部が情報共有及び意思統一を図ることを目的に実施した店長研修会は、副店長、部門チーフまで対象を拡げ実施しました。

既存店売上高前期比は99.0%（客数98.3%、客単価100.7%）となりました。改装については、4月に牧野店（大阪府枚方市）、6月に京阪大和田店（大阪府門真市）、7月に永和店（大阪府東大阪市）の3店舗で実施しました。また、お客様目線の売場づくり、従業員目線の職場づくりを目的に、1日休業によって売場変更やクリンリネスを行う「店舗リフレッシュ」を4店舗で実施しました。

販売費及び一般管理費については、光熱費が増加した一方で、消耗品費等の見直しなどにより、前期実績、計画ともに下回りました。

以上の結果、総額売上高129,579百万円（前期比99.0%）、営業利益2,885百万円（前期比117.1%）となりました。

なお、株式会社関西スーパーマーケットの業績は株式会社関西スーパーマーケットと株式会社K S Pとの連結数値です。また、連結上の総売上高及び営業利益は、上記に株式会社関西フードマーケットの販売費及び一般管理費並びに内部取引消去等の連結修正を加えた結果となります。

## (2) 設備投資等の状況

当期に実施しました企業集団の設備投資の総額は3,794百万円で、その主なものは、阪急オアシスの新規出店及びイズミヤの店舗改装であります。

## (3) 資金調達の状況

当期の資金調達につきましては、自己資金に加え、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社よりの借入にて賄いました。なお、当期末借入金残高は短期借入金が増加した結果、10,890百万円（前期末比889百万円増）となりました。

## (4) 対処すべき課題

2021年12月15日に、株式会社関西スーパーマーケットとイズミヤ株式会社、株式会社阪急オアシスは経営統合しました。そして、2022年2月1日、株式会社関西フードマーケットが、“新”株式会社関西スーパーマーケット、イズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスの3社を傘下とする持株会社となり、関西最大級の食品スーパー店舗数を有するグループとしてスタートしました。

食品スーパーマーケット業界は、少子高齢化や人口減少等による小売市場の縮小、ECや他業種の参入による競争激化、そして新型コロナウイルス感染症によるライフスタイルの変化等、その環境変化にますます多様な対応が必要になってきています。また、2022年度はウクライナをはじめとした国際情勢の混乱に伴い、原材料価格や電気代等エネルギーコストの高騰が生じました。家計の節約志向がますます強まる中、商品価格への転嫁を極力避ける取り組みを実施する等、当社の競争環境も大きく影響を受けております。

当社グループでは、「関西スーパー」「イズミヤ」「阪急オアシス」の各屋号をそのまま維持しつつも、屋号による棲み分けではなく、出店地域ごとの特色に合わせた店づくりや品揃え、価格の見直し等を図り、その地域のお客様に最もご利用いただける、お客様にとっての「一番店」を目指していくこと、いつもそこに「関西スーパー」、「イズミヤ」、「阪急オアシス」があると思っただけることが大切であると考えております。

イズミヤ株式会社と株式会社阪急オアシスでは、2021年より店舗運営や商品調達等の標準化・共通化などの事業改革に既に着手しておりますが、この取り組みをさらに進化させるため、2023年4月1日付で両社を合併し、さらなる経営の意思決定の迅速化、事業基盤の強化を図ります。これに加え、株式会社関西スーパーマーケットとの経営統合によるシナジー効果の実現のため、商圈、立地、店舗規模に基づく店舗フォーマットの分類と整理を行い、店舗運営、決済、製造・開発、物流、プロセスセンター、システム、本部機能など様々な分野でシナジーの実現を図り、より一層の企業価値向上に取り組んでまいります。

当社はエイチ・ツー・オー リテイリンググループの一員として、「『楽しい』、『うれしい』、『おいしい』の価値創造を通じ、お客様の心を豊かにする暮らしの元気パートナー」というグループビジョンの実現に向け、関西地域の生活者の皆様に「食」を通して貢献するため日々努力を重ねてまいります。

#### (5) 企業集団の財産及び損益の状況の推移

区 分	第61期 2019年4月 ～2020年3月	第62期 2020年4月 ～2021年3月	第63期 2021年4月 ～2022年3月	第64期 (当期) 2022年4月 ～2023年3月
売 上 高 (百万円)	126,184	130,940	284,265	374,018
営 業 利 益 (百万円)	2,254	2,731	5,802	5,919
経 常 利 益 (百万円)	2,582	3,086	4,940	5,355
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 (百万円)	1,682	2,005	8,368	4,262
1株当たり当期純利益 (円)	53.80	65.95	210.93	73.00
総 資 産 (百万円)	54,882	54,720	147,071	145,835
純 資 産 (百万円)	33,344	34,595	64,975	66,579
1株当たり純資産額 (円)	1,095.31	1,153.62	1,102.08	1,152.05

- 注1. 「1株当たり当期純利益」は、期中平均発行済株式数（自己株式を控除）に基づき算出しております。
2. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第63期（2021年4月～2022年3月）の期首から適用しており、第63期以降における主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。また、第62期（2020年4月～2021年3月）以前について、これまで「営業収益」と記載していましたが、第63期より「売上高」に表記を変更しております。
3. 第63期（2021年4月～2022年3月）において、当社を株式交換完全親会社、イズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスを株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。また、当社を吸収分割会社とし、当社の完全子会社であるK S 分割準備株式会社（2022年2月1日に「株式会社関西スーパーマーケット」に商号変更）を吸収分割承継会社とする吸収分割を実施し、当社の営む一切の事業を同社に承継いたしました。この結果、当社は、株式会社関西スーパーマーケット、イズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスを完全子会社とする持株会社に移行しております。なお、当社が行った株式交換は企業結合会計上、逆取得にあたることから、第63期の連結業績は、イズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスの通期の業績と、当社、株式会社関西スーパーマーケット及び株式会社K S P の3社の2022年1月1日から2022年3月31日までの期間の業績を反映したものとなります。このため、第62期（2020年4月～2021年3月）までの連結業績と第63期の連結業績との間には連続性が無くなっております。なお、第62期までの各情報は、被取得企業である当社の情報を記載しております。
4. 第63期（2021年4月～2022年3月）において、注3記載の株式交換に伴う負ののれん発生益5,459百万円など特別利益を合計5,624百万円計上しました。

## (6) 重要な親会社及び子会社の状況 (2023年3月31日現在)

### ① 親会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社に対する 議決権比率 (%)	当社との関係
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	17,796	64.08	資金の借入れ、 グループ運営負担金の支払い

- 注1. 当社は、経営統合推進のため、親会社との間で経営統合に関する契約を締結しております。
- 注2. 当社は、親会社から資金の借入れを行うほか、グループ運営負担金の支払いを行っております。当社は、当該取引を行うにあたり、市場金利等を勘案して利率を決定するとともに、同社より提供される役務などの内容が、グループ運営負担金の額に見合う内容であるかを取締役会で十分審議したうえで決定しております。したがって、その取引条件はいずれも妥当なものであり、当社の利益を害するものでないと判断しております。

### ② 重要な子会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社の 議決権比率 (%)	主要な事業内容
株式会社関西スーパーマーケット	100	100.0	食品スーパー
イズミヤ株式会社	100	100.0	食品スーパー
株式会社阪急オアシス	100	100.0	食品スーパー

- 注. イズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスは2023年4月1日をもって合併し、存続会社である株式会社阪急オアシスの商号をイズミヤ・阪急オアシス株式会社に変更いたしました。

### ③ 特定完全子会社に関する事項

会社名	住所	株式の帳簿価額 (百万円)	当社の資産総額 (百万円)
イズミヤ株式会社	大阪市西成区花園南1丁目4番4号	14,246	34,054
株式会社阪急オアシス	大阪市北区角田町8番7号	18,718	

- 注. イズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスは2023年4月1日をもって合併し、存続会社である株式会社阪急オアシスの商号をイズミヤ・阪急オアシス株式会社に変更いたしました。なお、イズミヤ・阪急オアシス株式会社の住所は大阪市北区角田町8番7号であり、2023年4月1日における株式の帳簿価額は、32,965百万円であります。

## (7) 主要な事業内容 (2023年3月31日現在)

当社は、食品スーパー3社（株式会社関西スーパーマーケット、イズミヤ株式会社、株式会社阪急オアシス）の持株会社として、食品スーパーの運営・管理を行っております。なお、イズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスは2023年4月1日をもって合併し、存続会社である株式会社阪急オアシスの商号をイズミヤ・阪急オアシス株式会社に変更いたしました。

## (8) 主要な事業所及び店舗 (2023年3月31日現在)

① 当社の事業所 本社 (兵庫県伊丹市)

② 子会社の店舗

会社名 (店舗数合計)	所在地	店舗数	店舗名
株式会社関西スーパーマーケット (関西スーパー64店舗)	大阪府	37	住之江店、長居店、福島店、ベルタ店、内代店、大和田店、南堀江店、古市店、南江口店、蒲生店、市岡店、瑞光店、今福店、善源寺店、ベルファ都島店、日下店、永和店、河内磐船店、倉治店、高槻店、西冠店、宮田店、佐井寺店、江坂店、萬崎菱木店、しんかな店、三島丘店、小野原店、豊中南店、金剛店、富田林駅前店、旭ヶ丘店、西郷店、河内長野店、牧野店、京阪大和田店、高石駅前店
	兵庫県	26	中央店、鴻池店、桜台店、駅前店、稲野店、アリオ店、荒牧店、兵庫店、青木店、レ・アール店、大開店、琵琶店、八多店、セルパ店、名谷店、H A T神戸店、舞多聞店、フェスタ立花店、出屋敷店、広田店、苦楽園店、鳴尾店、浜松原店、大社店、川西店、久代店
	奈良県	1	奈良三条店
イズミヤ株式会社 (イズミヤ、デイリーカーナート76店舗)	大阪府	48	花園店、原山台店、平田店、新中条店、稲田新町店、淡路店、桑津店、南田辺店、山田西店、豊新店、あびこ店、昭和町店、ちらぼーとEXPOCITY店、門真南店、住道店、庄内店、岸里店、池田旭丘店、松原店、平野店、天下茶屋店、枚方店、北緑丘店、国分町店、泉北店、深江橋店、河内長野店、交野店、門真店、和泉府中店、今福店、古市店、千里丘店、寝屋川店、八尾店、松原中央店、福町店、上新田店、光風台店、井高野店、玉手店、法円坂店、玉造店、和泉中央店、阪和堺店、天六樋之口店、FM寺田町東店、FM東三国4丁目店
	京都府	13	千本中立売店、羽束師店、桂坂店、千本北大路店、伏見店、大久保店、長岡店、高野店、六地藏店、白梅町店、八幡店、洛北阪急スクエア店、堀川丸太町店
	兵庫県	10	鶴越町店、尼崎店、小林店、多田店、昆陽店、杭瀬店、神戸玉津店、西神戸店、御影店、西宮ガーデンズ店
	奈良県	4	学園前店、新大宮店、広陵店、橿原神宮前店
	和歌山県	1	和歌山店
株式会社阪急オアシス (阪急オアシス77店舗)	大阪府	47	姫島店、中之島店、新町店、大淀南店、天六店、同心店、淡路店、塚本店、野江店、桃坂店、西田辺店、高殿店、福島玉川店、神崎川店、上本町店、あべの店、ときわ台店、石橋店、池田店、蛍ヶ池店、南千里店、北千里店、服部緑地店、桃山台店、夕日丘店、豊中少路店、千里中央店、千里山店、箕面船場店、吹田片山店、豊中店、小曾根店、千里山竹園店、服部西店、豊中駅前店、箕面店、富田店、高槻川西店、茨木大手町店、茨木駅前店、茨木東奈良店、総持寺店、千里丘店、守口店、K&M ルクア大阪店、福島ふくまる通り57店、吹田SST店
	京都府	5	山科店、西ノ京店、円町店、かどの店、西院店
	兵庫県	24	宝塚店、清和台店、日生中央店、えるむプラザ店、名塩店、三田駅前店、宝塚山手台店、キセラ川西店、宝塚中筋店、宝塚南口店、六甲店、武庫之荘店、尼崎潮江店、本山南店、御影店、甲陽園店、伊丹昆陽東店、伊丹鴻池店、伊丹大鹿店、神戸旭通店、石屋川店、立花店、伊丹店、神戸三宮店
	滋賀県	1	草津店

注1. 関西スーパー青木店及びイズミヤ大久保店は、2023年3月31日をもって閉店いたしました。

注2. イズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスは2023年4月1日をもって合併し、存続会社である株式会社阪急オアシスの商号をイズミヤ・阪急オアシス株式会社に変更いたしました。

## (9) 従業員の状況 (2023年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減
3,198名 (9,391名)	151名減 (1,339名減)

- 注1. 上記従業員数は就業人員数を記載しており、エイチ・ツー・オー リテイリンググループへの出向者を含んでおります。  
2. 上記従業員数の( )内は、臨時雇用者数の年間平均従業員数を示しております。

## (10) 主要な借入先の状況 (2023年3月31日現在)

借入先	借入額
日本生命保険相互会社	228百万円
株式会社日本政策投資銀行	200百万円

注. 上記のほか、当社は9,781百万円をエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社より借り入れております。

## (11) その他企業集団の現況に関する重要な事項

食品スーパーを運営する株式会社阪急オアシス及びイズミヤ株式会社は、従前より本社・本部機能や店舗運営機能の一元化を進めてきましたが、さらなる経営の意思決定の迅速化及び事業基盤の強化を図るため、2023年4月1日付で合併し、同日付で、存続会社である株式会社阪急オアシスの商号をイズミヤ・阪急オアシス株式会社に変更しました。

## 2 会社の株式に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 100,000,000株  
 (2) 発行済株式の総数 63,858,804株 (うち自己株式 6,066,658株)  
 (3) 株主数 6,806名 (前期末比 313名減少)  
 (4) 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	出資比率
エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	37,034千株	64.08%
関西スーパーマーケット取引先持株会	2,606	4.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,069	3.58
伊藤忠食品株式会社	1,430	2.47
国分グループ本社株式会社	1,111	1.92
加藤産業株式会社	700	1.21
関西スーパーマーケット従業員持株会	555	0.96
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	520	0.90
株式会社かね清	400	0.69
伊丹産業株式会社	301	0.52

注1. 当社は、自己株式を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 出資比率は、発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

### (5) 当事業年度中に当社役員に対して職務執行の対価として交付した株式の状況 当事業年度中に交付した株式報酬の内容は次のとおりであります。

区分	株式数	交付対象者数
取締役 (監査等委員である取締役及び社外取締役を除く)	2,100株	5名

注. 上記以外に当社子会社の取締役4名 (うち1名は当社取締役を兼務しております。) に対して12,200株を交付しております。

## (6) その他の株式に関する重要な事項

当社は、資本効果の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするため、2022年8月3日の取締役会決議に基づき、2022年8月4日に、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により500,100株の自己株式を総額636,127,200円で取得しました。また、2022年11月1日の取締役会決議に基づき、2022年11月2日に、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により679,200株の自己株式を総額935,258,400円で取得しました。

## 3 会社の新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4 会社役員に関する事項

### (1) 取締役の状況 (2023年3月31日現在)

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	林 克弘	エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 代表取締役副社長 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 代表取締役社長
取締役	福谷 耕治	関西スーパーマーケット担当 株式会社関西スーパーマーケット 代表取締役社長
取締役	梅本 友之	イズミヤ担当 イズミヤ株式会社 代表取締役社長 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役
取締役	永田 靖人	阪急オアシス担当 株式会社阪急オアシス 代表取締役社長 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役
取締役	渡邊 学	経営企画室長、財務室・総務室担当 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 常務執行役員
取締役等委員	小西 敏允	エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 取締役常勤監査等委員 株式会社阪急阪神百貨店 監査役 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 監査役
取締役等委員	森 薫生	高麗橋中央法律事務所 所長・弁護士 サノヤスホールディングス株式会社 社外取締役
取締役等委員	西口 美廣	株式会社神戸国際会館 監査役 伸和エンジニヤリング株式会社 監査役
取締役等委員	澤 千恵	社労士オフィス ジェイアシスト 代表・特定社会保険労務士 株式会社スカイコンサルティング 代表取締役

- 注1. 森薫生氏、西口美廣氏及び澤千恵氏は、社外取締役であります。また、当社は、社外取締役3名全員を独立役員として東京証券取引所に届け出ております。なお、当社は、独立役員と代表取締役社長を構成員とする任意の指名・報酬委員会を設置しております。
2. 小西敏允氏及び西口美廣氏は、長年にわたって財務・経理業務に携わった経験があり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
3. 当社は、内部監査部門を強化し、監査等委員会との連携をより密接に行っているため、常勤の監査等委員を選定しておりません。
4. 当社は、監査等委員である取締役4名全員と、会社法第427条第1項の規定及び当社定款の定めに基づき、同法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結しております。なお、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、法令の定める額としております。

5. 当社及び当社グループのすべての取締役（監査等委員を含む。）及び監査役を被保険者とする会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約では、被保険者が会社の役員等の地位に基づき行った行為（不作為を含みます。）に起因して損害賠償請求された場合、損害賠償金や訴訟費用等が填補されることとなっており、当社が保険契約者として費用負担しております。
6. 当事業年度後の取締役の担当及び重要な兼職の変更は次のとおりであります。

氏名	変更前	変更後	異動年月日
林 克弘	エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 代表取締役副社長 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 代表取締役社長	エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 代表取締役副社長 イズミヤ・阪急オアシス株式会社 代表取締役社長 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 代表取締役社長	2023年4月1日
福谷 耕治	関西スーパーマーケット担当 株式会社関西スーパーマーケット 代表取締役社長	株式会社関西スーパーマーケット 代表取締役社長 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役	2023年4月1日
梅本 友之	イズミヤ担当 イズミヤ株式会社 代表取締役社長 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役	イズミヤ・阪急オアシス株式会社 専務取締役 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役専務執行役員 カネート株式会社 取締役	2023年4月1日
永田 靖人	阪急オアシス担当 株式会社阪急オアシス 代表取締役社長 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役	イズミヤ・阪急オアシス株式会社 専務取締役 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役専務執行役員	2023年4月1日

## (2) 取締役の報酬等

### ① 当事業年度に係る報酬等の総額

区分	報酬等の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額 (千円)			対象となる 役員の員数 (名)
		基本報酬	業績連動 報酬等	非金銭報酬等	
取締役 (監査等委員を除く) (うち社外取締役)	26,125 (-)	24,300 (-)	- (-)	1,825 (-)	5 (-)
取締役 (監査等委員) (うち社外取締役)	18,000 (14,400)	18,000 (14,400)	- (-)	- (-)	4 (3)
合計 (うち社外取締役)	44,125 (14,400)	42,300 (14,400)	- (-)	1,825 (-)	9 (3)

注1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。

- 業績連動報酬は、1事業年度の連結業績に応じた報酬として、連結営業利益額を指標として選定し、役位とその達成度を勘案するものとしております。
- 非金銭報酬として、譲渡制限付株式報酬を交付しております。当該株式報酬は、普通株式を用いた譲渡制限付株式の交付とし、譲渡制限解除は当社又は当社子会社の取締役、執行役、監査役等役員のいずれの地位をも退任した直後の時点を原則とします。なお、当該株式報酬の交付状況は「2.会社の株式に関する事項」に記載のとおりであり、非金銭報酬等の額は、譲渡制限付株式報酬として当事業年度に費用計上した額であります。

### ② 取締役の個人別の報酬等の内容についての決定に関する方針等

1) 当社は、2022年5月11日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容についての決定に関する方針を決議しております。その内容等は次のとおりであります。

#### 2) 決定方針の内容の概要

##### i. 基本方針

取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）の報酬は、固定報酬としての基本報酬、業績向上の意識を高めるためのインセンティブとしての業績連動報酬等及び非金銭報酬等で構成し、各人の職責を踏まえた適正な水準を支給する。また、監査等委員である取締役及び社外取締役の報酬は、その職務に鑑み固定報酬としての基本報酬のみを支給する。なお、取締役会は、個人別の報酬等の内容について、指名・報酬委員会の意見を尊重して決議することにより、その公平性と透明性を確保する。

##### ii. 基本報酬の個人別の報酬等の額の決定に関する方針

基本報酬は月例の固定額金銭報酬とし、常勤と非常勤の別、役位、当社の連結業績を考慮のうえ、総合的に勘案し決定する。

- iii. 業績連動報酬等の内容及び額又は数の算定方法の決定に関する方針  
業績連動報酬等は金銭報酬とし、予め定めた業績に関する基準に従い、毎年、定時株主総会終結の日より1か月以内に支給する。
  - iv. 非金銭報酬等の内容及び額又は数の算定方法の決定に関する方針  
株主と一層の価値共有を進めるため、企業価値の持続的な向上を図るインセンティブとして、取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）の報酬等の一部を株式報酬とする。なお、当該報酬は、毎年、定時株主総会終結の日より1か月以内に株式報酬規程に基づき支給する。
  - v. 基本報酬の額、業績連動報酬等の額、非金銭報酬等の額の割合の決定に関する方針  
取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）の個人別の報酬等の額における基本報酬の割合は80%程度、業績連動報酬等及び非金銭報酬等の割合は、総額の20%程度を目処とする。また、業績連動報酬等は、上位者ほど割合を高くする。
  - vi. 個人別の報酬等の内容についての決定に関する事項  
取締役（監査等委員である取締役を除く。）の個人別の報酬については、指名・報酬委員会の検討を経て、取締役会にて決定するものとする。
- 3) 当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等の内容が決定方針に沿うものであると取締役会が判断した理由  
個人別の報酬等の内容の決定にあたり、原案について、指名・報酬委員会が決定方針との整合性を含めた検討を行っており、また、取締役会においても取締役の個人別の報酬等の内容が決定方針に沿うものであるかを確認し、個別の報酬額について決定しております。

### ③取締役の報酬等についての株主総会の決議に関する事項

#### （基本報酬及び業績連動報酬）

取締役の報酬等に関する株主総会決議日は2015年6月24日であり、取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬額を年額3億円以内、監査等委員である取締役の報酬額を年額500万円以内とすることと決議しております。なお、当該定時株主総会の終結時点の取締役（監査等委員である取締役を除く。）の員数は9名、監査等委員である取締役の員数は4名でした。

#### （非金銭報酬）

非金銭報酬に関する株主総会決議日は2021年6月25日であり、上記とは別枠で、譲渡制限付株式の付与のために支給する金銭報酬は年額3千万円以内とし、当社の普通株式については発行又は処分を受ける当社の普通株式の総数は年4万株以内と決議しております。なお、当該定時株主総会の終結時点の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）の員数は6名でした。

### (3) 社外役員に関する事項

#### ① 他の法人等との重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

社外取締役の重要な兼職の状況は、「(1) 取締役の状況」に記載のとおりであります。また、兼職先と当社の間には、開示すべき特別な関係はありません。

#### ② 特定関係事業者との関係

該当事項はありません。

#### ③ 社外役員の当期における主な活動状況

区分	氏名	当期における主な活動状況
社外取締役 監査等委員	森 薫 生	当期における在任期間に開催された取締役会（書面決議を除く。）11回のうち10回に、同じく監査等委員会12回のうちすべてに出席し、弁護士としての経験から、当社の法的リスクに関する発言を行うだけでなく、外部環境を踏まえた事業リスクや事業の統合において、適宜、問題提起を行うことにより、果たすことが期待される役割を果たしました。
社外取締役 監査等委員	西 口 美 廣	当期における在任期間に開催された取締役会（書面決議を除く。）11回のうちすべてに、同じく監査等委員会12回のうちすべてに出席し、これまでの豊富な実務経験に基づき、食品スーパーの出退店戦略や収益性、コスト分析など経営管理に関する提言等を行うことにより、果たすことが期待される役割を果たしました。
社外取締役 監査等委員	澤 千 恵	当期における在任期間に開催された取締役会（書面決議を除く。）11回のうちすべてに、同じく監査等委員会12回のうちすべてに出席し、社労士としての知識及び経験から、人事制度や人材育成に関して問題提起を行うなど、適宜、議案に関する意見、質問等の発言を行うことにより、果たすことが期待される役割を果たしました。

## 5 会計監査人に関する事項

## 6 会社の体制及び方針

法令及び当社定款第13条第2項の規定に基づき、各ウェブサイトに掲載しております。

注．本事業報告に記載の金額及び株式数は表示単位未満を切り捨て、比率等は表示桁数未満を四捨五入して表示しております。

## 連結貸借対照表 (2023年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>39,632</b>	<b>流動負債</b>	<b>55,418</b>
現金及び預金	10,480	買掛金	23,154
売掛金	13,071	短期借入金	9,781
商品及び製品	6,997	1年内返済予定の長期借入金	136
原材料及び貯蔵品	123	リース債務	822
短期貸付金	1,325	未払金	6,429
未収入金	6,090	未払法人税等	741
その他	1,729	前受金	1,516
貸倒引当金	△186	賞与引当金	1,183
		人事制度改編費用引当金	682
		店舗等閉鎖損失引当金	45
		その他	10,925
<b>固定資産</b>	<b>106,202</b>	<b>固定負債</b>	<b>23,837</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>78,742</b>	長期借入金	972
建物及び構築物	31,136	リース債務	9,546
車輛及び器具備品	4,774	繰延税金負債	2,699
土地	42,830	役員退職慰労引当金	85
<b>無形固定資産</b>	<b>3,167</b>	長期預り保証金	3,828
のれん	1,690	退職給付に係る負債	4,246
その他	1,476	資産除去債務	2,193
		その他	264
<b>投資その他の資産</b>	<b>24,293</b>	<b>負債合計</b>	<b>79,256</b>
投資有価証券	1,226	<b>(純資産の部)</b>	
長期貸付金	2,981	<b>株主資本</b>	<b>67,127</b>
差入保証金	12,587	資本金	100
退職給付に係る資産	834	資本剰余金	63,373
繰延税金資産	6,117	利益剰余金	12,628
その他	550	自己株式	△8,973
貸倒引当金	△3	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△548</b>
		その他有価証券評価差額金	39
		土地再評価差額金	△479
		退職給付に係る調整累計額	△107
<b>資産合計</b>	<b>145,835</b>	<b>純資産合計</b>	<b>66,579</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>145,835</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
売上高	374,018
売上原価	259,011
売上総利益	115,006
販売費及び一般管理費	109,087
営業利益	5,919
営業外収益	
受取利息	24
受取配当金	23
リースサイクル材売却益	70
その他	265
営業外費用	
支払利息	323
グループ運営負担金	393
その他	232
経常利益	5,355
特別利益	
商品券等整理益	134
固定資産売却益	14
特別損失	
減損損失	1,582
人事制度改編に伴う一時費用	798
固定資産除売却損	113
店舗等閉鎖損失	77
税金等調整前当期純利益	2,933
法人税、住民税及び事業税	1,441
法人税等調整額	△2,770
当期純利益	4,262
非支配株主に帰属する当期純利益	—
親会社株主に帰属する当期純利益	4,262

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主総会会場ご案内図

## 会場

### 大阪新阪急ホテル 2階 紫の間

大阪市北区  
芝田一丁目1番35号

## 交通のご案内

- JR大阪駅御堂筋出口  
より徒歩すぐ
- 阪急大阪梅田駅隣接
- 地下鉄御堂筋線梅田駅  
①、②出口より地下入  
口に直結

※総会当日は、会場周辺道路及び  
駐車場の混雑が予想されますの  
で、お車でのご来場はご遠慮願  
います。



■ ご来場株主様へのお土産等のご用意はございません。何卒ご理解賜りますようお願いいたします。